

2012アセンション日記

最終版



～神聖の目覚め～

国丸

この一年を通して私が体験したアセンションの本質は、「神聖」に他ならないと感じています。これは、A i 先生著「根源へのアセンション」にも出てくる、二〇一二年の最も大切なキーワードでもあるのですが、今、宇宙と二〇一二年の年の瀬をこうして迎えて初めて、その意味が少し分かった気がしてします。

「神聖」とは、何でしょうか？

結局、それは言葉では表現しきれないものだと思います。というのは、神聖とは、言葉から学ぶものではなく、神聖を体現する人の一挙一動、その存在そのものからしか、学べないと思うからです。このようなわけで、「根源へのアセンション」の冒頭で、ロード・キリスト・サナンダも、安易に、神聖=◎◎と定義するのではなく、「それは、自然界やクリスタルチルドレンから、学ぶことができます」とおっしゃっているのではないのでしょうか。これを踏まえたうえで、「神聖」を深めることになった、私自身の二〇一二年のアセンション体験を綴りたいと思います。

『神聖』を始めて真剣に意識するようになったのは、6月に国内で行われた、宇宙と地球のマル秘のアセンション・プロジェクトのときのエネルギー・ワークからだと思います。そのとき、何か途方もないことが起きていると感じると同時に、ハートの奥では、『その本質は、とてもシンプル』とも感じていました。

ところで、『根源へのアセンション』には、「『魂』レベルの意識になると、『太陽』に住んでいることを認識する」と書かれています。これはとても重要なメッセージだと思います。太陽に住んでいながら、その器として、地球に足をつけていることが、神聖な意識ではないかと思うからです。つまり、内なる太陽のフォトンが地上に伝える『純真さ』が、神聖ということかもしれません。6月のワークを振り返ってみると、そのシンプルな本質とは、これだったのかとも感じていますし、それはまさしく、子供、木々・草花の本質であるということに、はたと気づき、感動しました！！

また、二〇一二年の『神聖』というテーマは、ロード・キリスト・サナンダそのものとも、とても関係していると思います。2012年を通して、ロード・キリスト・サナンダについて、私が最も深く心を打たれたことは、その意識が、どれだけ、地球と宇宙を愛しているのかということ、そして、ロード・キリスト・サナンダ、宇宙キリストの本質が、まさに、それであるということです。

私たちは、ロード・キリスト・サナンダのちびちびちび版として、ちびちびちび宇宙キリスト意識からのライトワークを通して、また、『神聖さ』を学びました。

宇宙キリスト意識とは、宇宙のために、迷わず自分を差し出す、神聖さだと思います。そして、この意識、想い、エネルギーは、実際に、宇宙の運行と存続を護るものである、とも感じました。

宇宙の万物の根源は、根源神界だと思うのですが、ここの宇宙の生命は、それに加えて、宇宙キリストのエネルギーによっても、サポートされ、息づいているとも感じた二〇一二年でもあったのです。というのは、その器となり、ライトワークをすることで、地球と宇宙の生命の中に溶けさり、生命であることをともに歓び、実際に、生命のエネルギーが、生き生きと、活性化していくようにも感じたからです。

『神聖さ』

それは、すべての人の持つ、本質だと感じます。そのように体験し、伝えていくことが、私にとっての、二〇一二年でもあったと思います。

これらのかげがえのない体験を踏まえて、これからも、かけがえのない大切なもののために、進んでいけること
＝永遠のアセンションの道そのものが、心から楽しみです！！！！